

### 建築システム 3次元積算

# BIMと連携直結化

## 日積サーベイ12月中旬に最新版

日積サーベイ(大阪市)は、BIM(ビルデザイン  
中央区、生島宣幸社長)「グ・インフォメーション

・モデリング)対応の3

次元建築積算システムの

最新バージョン「NCS

／HEADIOS(ヘリオ

ス)V11.0」を12月中

旬に発売する。オートデ

スク(東京都中央区、ル

イス・グレスパン社長)

のBIMソフトウェア

「Autodesk R

evit」とのデータ連

携を直結化。数量積算と

見積もり作成にかかる時

間を大幅に短縮し、業務

効率を高めることができ

る。

Revitとヘリオス

の連携には従来、IFC

という国際的な規定で定められた中間ファイルを使う必要があった。最新版では、ヘリオス自体のローカルファイルで連携が可能になる。

ヘリオスに必要な最小限の情報に絞り込んだより効率的な連携を実現。円滑な業務進行に役立ててもらおう。IFCでは不可能だった建具のガラスや階段など細部のデータ連携が可能という。

ヘリオスの希望小売価格(ライセンス提供)は、スタンドアロン版で構造積算セットが110万円から、仕上げ積算セットが75万円から。